

# 授業に図書館の力を！

平成23年度  
学術情報リテラシー教育担当者研修  
第4班

## 授業にからみたい・・・

- 図書館主催の演習ガイダンスでは学生の身につかない
  - 授業の課題を解決するツールとして提案する必要がある
- ⇒個々の授業に組み込まれることで、実際の活用方法がわかる！
- ⇒「自分で課題を見つけ、解いていく」という新しい教育のあり方にふさわしい！

# 授業にからめていないのはなぜ？

- 図書館側が授業内容を把握していない
- 教員が授業中に図書館利用を促していない
- シラバス作成部署との連携がとれていない
- 教員が参加する会議等でアピールできない
- 教員自身のリテラシー教育への意識が低い

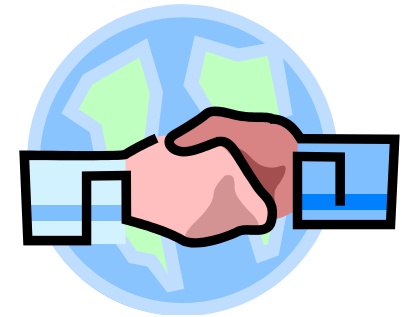


では、どうすれば  
からめめるのか？

# 学内連携

対象を3つに分けてアクション！

- 教員
- 学生
- 学内の他部署



# まずは教員！

## 相互理解のために

- リテラシーの目標レベルを共有
  - ・授業を実際に受けてみる
  - ・課題の内容や目的を把握
- アクティブラーニングやファカルティデベロップメントと関連づける
- 教員へインタビュー

# やっぱり、学生

## 相互理解のために

- 学生を知る
  - ・最近の若者の思考・行動パターンは？
  - ・レポートのとき、何に困っているのか？
- 学生を活用
  - ・学生アシスタントの活用

## そして、学内の他部署

相互理解のために

- シラバスの活用
  - ・作成段階から参加
  - ・完成後の利用
- インタビュー
- 仲間意識を持つ



# どんなことができそう？

- オンデマンド・セミナー  
授業内容に応じたセミナー内容
- 卒論サポート
- 休講の時間を図書館に活用してもらう
- 図書館のファンが増える
- 図書館を頼りにしてくれる

みなさんの図書館では  
どうでしょうか？

活用できそうなアイデアはありましたか？